

# 上 薬物依存者施設 民間が計画

## 田 町議会「中止」の意見書

田上町で民間団体が薬物依存者のリハビリ施設の開所を計画していることが十日、分かった。

依存症者が共同生活をして回復を目指すもので、開所時期は未定。これに対し同町議会が開所中止を求める意見書を全会一致で可決、同町も中止を求める方針を決めた。

開所を計画しているのは秋田県にある回復支援施設「秋田ダルク」。平原薫代表(四四)らによると、施設では共同生活を通して薬物依存を断ち切り、社会復帰を目指す。

入所者はスタッフを含め五、六人を予定。支援者が同町羽生田に購入した木造二階建て約百二十平方分の民家を活用する計画だ。同様の施設は全国に約五十カ所あり、開所されれば県内初となる。

ダルク側は三月下旬、同町に計画の説明を申し出たが、町側が「地元が反対している」として断った。平原代表は「不安に思っのも分かるが、話を聞いてほしい」としている。

同町議会は「施設付近に通学路があり、住民は

不安を感じている」などとして十日までに、開所中止を求める意見書を可

### 在来線に早期地震警報装置

JR東日本新瀉支社は十日までに、大規模地震発生時に細かい揺れ(初期微動)を察知して大きな揺れの前に列車を緊急停止する「在来線早期地震警報システム」を管内全線で導入した。

同システムは新幹線沿線と海岸沿いに設けられた約九十カ所の地震計で初期微動を感知し、コン

決。これを受け、佐藤邦義町長は「開所中止を要請していきたい」と話した。

県によると、医療行為を伴わない施設の場合、開所に許認可は必要ないという。

ピューターで地震の震源と規模を即座に推定。気象庁の緊急地震速報ともあわせ、緊急停止が必要な区間を判断し、電線に無線で「地震発生。緊急

危険業務従事者叙勲  
本県から63人

政府は十一日付で、第十二回危険業務従事者叙

平成二年四月十一日